

Rikkyo Club of Executives & Professionals 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

立教経済人クラブ第32回定期総会



平成24年5月30日(水)午後5時30分より、毎年恒例となる「立教経済人クラブ第32回定期総会」が日比谷松本楼にて開催されました。第一部の定期総会は、総務委員長 安食正秀氏(S61営・株式会社アセットアドバイザー代表取締役社長)が司会者となり開会を宣言、会則より議長に会長である和田成史氏(S50営・株式会社オービックビジネスコンサルティング代表取締役社長)が指名され、審議に入りました。

内容は割愛いたします(議案の一つであった改選役員に関しては、2頁に紹介しております)が、5つの議案全て、満場一致で承認されました。

午後6時より、第二部となる講演会が開催されました。立教大学 統括副総長 白石典義様にお越しいただき、「立教大学の今とスポーツ」と題し、少子化時代の中で奮闘する母校立教大学の現状についてご講演いただきました(講演内容に関しては、別頁に紹介しております)。

午後7時より、第三部懇親会へ。第一部の総会で承認を頂いた新総務委員長 湯浅修氏(S59産・株式会社ブレーン代表取締役社長)に、司会のマイクがバトンタッチされました。懇親会から参加のメンバーを加え103名となり、第二部で講師をして頂いた立教大学 白石統括副総長を始め、各学部長・教授、木澤校友会副会長、天沼校友会レディスクラブ会長、マスコミ立教会伏見事務局長、立教学院小中高の校長先生他25名をお迎えして開宴。

開会のご挨拶として経済人クラブ和田会長より、総会が無事に終了した報告と御礼、昨今の経済環境におけるグローバル化のうねりに関しての知見、そして、立教のメンバー同士の横のつながりを大いに利用し、今後の運営に皆様のご支援を賜りたい旨の挨拶をいただきました。

ご来賓を代表し、白石典義 立教大学統括副総長より、第二部の講話に引き続きご挨拶をいただきました。

続いてご来賓各位を紹介した後、当クラブ

への新入会員を、暖かい拍手の中で紹介し迎えることが出来ました。

その後、木澤校友会副会長より乾杯のご発声を頂き、懇親会が始まりました。

久しぶりに顔を拝見した同友、松本楼の美味しい食事とお酒により大変話が盛り上がり、会場各所で大いに笑い、情報交換に華が咲きました。

中締め時間も迫ってきたところで、約12年間経済人クラブ事務局でご活躍頂いた深澤けいこ様より、退任のご挨拶を頂き、和田会長より花束を贈呈されました。

さらに、立教新座中学校・高等学校校長 渡邊憲司様より、新座校舎の現状などについてお話を頂きました。

宴もたけなわで名残惜しい雰囲気ではありましたが、S42年経済学部卒、観光クラブの元会長 荒井詔二郎様のご挨拶と一本締めをもって、大学の益々の発展と会員企業の隆盛、各位の健勝を願いながら閉会となりました。

—徳澄 範光 S62 数—

2012年度第1回理事会

去る5月15日、新橋亭において2012年度の第1回理事会を開催致しました。当日は、6月1日に開催する第32回総会の資料のついて審議され承認されました。特に、今年度は役員改選の年であり、その内容が報告され承認されました。主な役員改選は、松井幹雄副会長が退任され顧問へ、戸井田和彦副会長が新任、永年当会にご尽力戴いた金澤良信顧問と杉本公孝顧問が退任されました。運営側の役員交代もあり、中島弘人事務局長、戸張則博活性化委員長、藤田聡産学連携委員長が退任され理事へ、また、会長推薦で大屋高志氏が新任の理事と報告されました。また運営側では、事務局長・総務委員長・活性化委員長・産学連携委員長の新任が報告されました。

会長からは、現状の経済状況、IT業界の動向からお話を戴き、立教経済人クラブの活動を活発にすることで、立教大学だけでなく経済にも活力を与えたいとの言葉がありました。

続く懇親会では新橋亭の美味しいお料理を戴きつつ、会長以下出席して下さった顧問、副会長、理事、委員長の皆さんから、近況報告や経済社会情勢に対して感じられていることなどについてお言葉を戴きました。

当日ご出席頂いた方々は以下の通りです。(敬称略)

- 会長 和田成史
- 顧問 長谷川正二郎、鈴木紀子、田村憲郎、倉石昇、谷田権吉見善夫、中島一彰
- 副会長 梅田憲司
- 理事 中島淑夫、富澤麻利子、加藤睦夫
- 新任理事 大屋高志
- 委員長 井口一世、昆凡子、戸張則博、守屋裕之、藤田聡、徳澄範光、安東隆司
- 新任委員長 山田晴久、湯浅修
- 事務局長 中島弘人
- 新任事務局長 安食正秀

以上24名
—安食 正秀 S61 営—

2012年度 予算書(案)

収支計算書

自2012年4月1日 至2013年3月31日

単位:円

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 差異 | 備考 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|
| I.収入の部 | | | | |
| 1. 会費収入 | 4,320,000 | 4,170,000 | 150,000 | 3月末会員数432名 |
| 2. 入会金収入 | 250,000 | 250,000 | 0 | 前年入会数24名 |
| 3. 研修等会費収入 | 2,890,000 | 3,090,000 | -200,000 | |
| 4. 広告収入 | 600,000 | 600,000 | 0 | |
| 5. 預金利息収入 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 6. 雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計 | 8,090,000 | 8,140,000 | -50,000 | |
| 前期繰越収支差額 | 1,996,697 | 2,714,019 | -717,322 | |
| 収入合計 | 10,086,697 | 10,854,019 | -767,322 | |
| II.支出の部 | | | | |
| 1. 研修等会費支出 | 3,190,000 | 3,200,000 | -10,000 | |
| 2. 人件費 | 1,640,000 | 1,750,000 | -110,000 | |
| 3. 交通費 | 260,000 | 290,000 | -30,000 | |
| 4. 通信費 | 250,000 | 250,000 | 0 | |
| 5. 事務費 | 580,000 | 440,000 | 140,000 | |
| 6. 会報費・HP費 | 1,320,000 | 1,350,000 | -30,000 | |
| 7. 名簿・名刺作成費 | 720,000 | 710,000 | 10,000 | |
| 8. 雑費 | 130,000 | 150,000 | -20,000 | |
| 9. 予備費・繰入金支出 | 0 | 1,000,000 | -1,000,000 | |
| 当期支出合計 | 8,090,000 | 9,140,000 | -1,050,000 | |
| 当期収支差額 | 0 | -1,000,000 | 1,000,000 | |
| 基本金組入額 | 0 | 0 | 0 | |
| 次期繰越収支差額 | 1,996,697 | 1,714,019 | 282,678 | |

注. 資金の範囲及び収支差額は手元現金、普通預金、郵便貯金で構成されています。
注. 重要な会計方針等の注記については省略しています。
注. 会費収入予算は、毎年3月31日現在の会員数で作成しています。

2012、2013年度 役員(案)

| | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|----------------------|------------------|---------|-------|--------|-------------------|--------------------|
| 会長 | 和田成史 | 50 営 | (株)オービックビジネスコンサルタント | 代表取締役社長 | 理事 | 中島淑夫 | 43 営 | 新生紙バルブ商事(株) | 専務取締役・営業統括本部長 |
| 副会長 | 上原洋一 | 46 院経 | 上原ネームプレート工業(株) | 代表取締役社長 | 〃 | 鶴見和雄 | 47 経 | 公益財団法人 プラン・ジャパン | 専務理事 |
| 〃 | 伊藤守 | 49 観 | (株)毎日コムネット | 代表取締役社長 | 〃 | 志賀公夫 | 49 法 | 志賀工業(株) | 代表取締役社長 |
| 〃 | 梅田憲司 | 50 経 | 三重建材(株) | 代表取締役社長 | 〃 | 富澤麻利子 | 49 教 | (株)ラ・ジャッカ | 代表取締役 |
| 〃 | 戸井田和彦 | 50 営 | (株)ファルテック | 代表取締役社長 (新任) | 〃 | 村川和夫 | 51 法 | 三和体育製販(株) | 代表取締役 |
| 最高顧問 | 玉塚和男 | 26 経 | みずほ証券旧友会 | 会員 | 〃 | 平山裕嗣 | 53 営 | ヤヨイ広告企画(株) | 代表取締役 |
| 〃 | 坪野谷雅之 | 40 経 | 立教大学 | 立教セカンドステージ大学兼任講師 | 〃 | 戸張則博 | 54 営 | (株)ヴァーネットコーポレーション | 代表取締役 (新任) |
| 特別顧問 | 保坂三蔵 | 37 法 | 自民党東京都連 | 会長代行 | 〃 | 杉本隆洋 | 55 営 | (株)アズジェント | 代表取締役社長 |
| 〃 | 田谷禎三 | 42 産 | 立教大学経営学部 | 特任教授 | 〃 | 山口登 | 57 経 | (株)山口国際税務会計 | C.E.O. 税理士 |
| 顧問 | 長谷川正二郎 | 25 営 | 損保マチュリティ懇話会 | 副会長 | 〃 | 加藤睦夫 | 57 社 | (株)ホロスプランニング | ファイナンシャルプランナー |
| 〃 | 小坂哲瑯 | 29 営 | (有)日比谷松本楼 | 代表取締役社長 | 〃 | 中島弘人 | 57 経 | (株)東海リライアンス | 代表取締役社長 (新任) |
| 〃 | 出光謙介 | 29 経 | (社)日・豪・ニュージーランド協会 | 理事 | 〃 | 藤田聡 | 62 営 | (株)企業変革創造 | 代表取締役社長 (新任) |
| 〃 | 松崎昭雄 | 30 経 | | | 〃 | 大屋高志 | 63 化 | フィールズ(株) | 代表取締役社長 (新任) |
| 〃 | 村山好弘 | 32 経 | (株)スパンクリートコーポレーション | 名誉会長 | 事務局長 | 安食正秀 | 61 営 | (株)アセット・アドバイザー | 代表取締役 (新任) |
| 〃 | 鈴木紀子 | 32 経 | (株)三鷹婦人会館 | 代表取締役 | 総務委員長 | 湯浅修 | 59 産 | (株)ブレーン | 代表取締役社長 (新任) |
| 〃 | 田村憲郎 | 32 経 | | | 財務委員長 | 守屋裕之 | 60 営 | ソニー生命保険(株) | 部長・「E」クリエイティブプランナー |
| 〃 | 倉石昇 | 33 経 | (株)万葉軒 | 役員 | 研修委員長 | 井口一世 | 53 営 | (株)井口一世 | 代表取締役 |
| 〃 | 井上雅由 | 34 経 | トウイックスジャパン(株) | 代表取締役社長 | 会報委員長 | 徳澄範光 | 62 数 | ブレーン・アシスト(株) | 代表取締役 |
| 〃 | 瓦林聖児 | 34 営 | (社)スウェーデン社会研究所 | 理事長 | スポーツ委員長 | 長倉一裕 | 59 法 | (株)こだま | 代表取締役 |
| 〃 | 谷田権 | 35 経 | (株)ケン・ファイナンス | 代表取締役 | 拡大委員長 | 昆凡子 | 54 仏 | (株)シムコス | 会長 |
| 〃 | 吉見善夫 | 35 経 | ヨシミ税務会計事務所 | 所長・税理士 | 活性化委員長 | 山田晴久 | 56 法 | (株)山田紙器 | 代表取締役 (新任) |
| 〃 | 松井幹雄 | 36 英 | (株)ホテルオークラ | | 産学連携委員長 | 上小牧政章 | H17 院ビ | (有)グレコ | 代表取締役 (新任) |
| 〃 | 中島一彰 | 41 営 | (株)インベストメントインターナショナル | 代表取締役 | 対外交渉委員長 | 安東隆司 | H1 社 | ソシエテ ジェネラル信託銀行(株) | プライベートバンキングディレクター |
| 〃 | 呉東富 | 41 営 | (株)新橋亭 | 取締役会長 | | | | | |
| 〃 | 青木弘光 | 41 化 | (株)青木メタル | 代表取締役社長 | | | | | |
| 〃 | 香取信三 | 41 営 | (株)キノエネインターナショナル | 代表取締役 | | | | | |
| 法制顧問 | 木澤克之 | 49 法 | 木澤法律事務所 | 弁護士 | | | | | |
| 〃 | 花岡光生 | 53 法 | 花岡法律事務所 | 弁護士 | | | | | |
| 監査委員長 | 北岡修一 | 55 営 | 東京メトロポリタン税理士法人 | 統括代表社員 | | | | | |
| 監査委員 | 岩田護 | 56 営 | 岩田護税理士事務所 | 所長・税理士 | | | | | |

第32回定期総会第二部講演会

立教大学の今とスポーツ 白石典義 立教大学統括副総長

I 大学の現状について

- ◆立教大学の受験生は2012年度69,500名と全国10番目の多さとなっており、6大学で比較すると早稲田・明治が10万人、慶応が4万人となっており、中央や日大より受験者数は多い。入学者数は4,000人、学部は10学部、男女比は48.5:51.5と女子学生が多いのが特徴である。特に女子学生が多いのは異文化コミュニケーション部、文学部、観光学部で7割が女子学生となっている。
- ◆出身地は関東8割:その他2割と関東圏に偏っており、今後は地方での入試も検討したい。就職率は90%だが、一般的に集団は上位・中位・下位の2:6:2に分かれると言われるように、就職活動においても中位以下8割の学生が苦労しているのが実情である。それぞれの学部就職アドバイザーを置いてサポートを行っているが、3年次の後半から就職一辺倒となり4年次の勉強が疎かになっている。グローバル化の中で、企業側も新卒一括採用を見直す時期に来ているのではないかと。
- ◆偏差値は60以上であり、上位10%の学生が受験している。残念ながら3人合格しても1人しか入学しておらず、偏差値と入学率は負の相関関係にあると言える。池袋校舎が30%、新座校舎が40%と新座の入学率が高いが、これは観光学部など他大学には無い差別化された学部があるためだろう。
- ◆最近の学生は、優秀な学生は海外企業に就職するなど自発的に動く。授業に出席して勉強もよくする傾向にある。これは前向きな動機によるよりも、将

来への不安感の表れであり、将来が今よりよくなると思っている学生はいないだろう。

- ◆立教大学に限ったことではないが、大学生はまず主体的に学ぶ姿勢を学ばせなくてはならない。「与えないと動かない」「ロードマップがないと動けない」のが中間層に位置する大半の学生の実態で、我々の世代からすると過保護に見えるかもしれないが、今後は大学側がロードマップを示して選択を促していく必要があり、入学直後の初年時教育の重要性が増している。
- ◆設備投資については、池袋に23階建てのロイドホールを建設中であり、立教大学の国際化の拠点としていく。新座ではグループワークができるオープンスペースを設ける予定である。
- ◆立教大学の使命は日本を担う人材育成にあり、学生・卒業生が立教大学に誇りをもつことが重要である。今後は「英語の立教」の名に恥じぬよう、海外留学を積極的に推進する方針であり、既に海外150校と提携し授業料の相互免除制度を導入しているので、授業料の高い欧米の大学への留学も負担が少ない。世界レベルの研究としては、観光学部はアジアにおける観光研究の中心的な地位を誇っており、心理学部も「うつと自殺予防」の研究において目覚ましい成果を上げている。

II 大学とスポーツ

- ◆野球部は既に100周年を迎え、テニス部も2013

年に100周年を迎える。立教大学のスポーツの歴史は昭和20～30年にオールジャパンメンバーを多数輩出するなど黄金時代を迎えたが、昭和45年以降スポーツ選抜を廃止してからは、今日に至るまで成績面で立教大学の名前を聞くことが減ってしまった。

- ◆私が2000年にバスケット部の部長に就任した際、同部の成績は関東リーグで50位と低迷していた。2007年に体育会長に就任し、人材不足の解消とスポーツの持つ教育的効果や学問に限定せず異質な能力に秀でた学生と共に学ぶことの重要性を訴えて、アスリート選抜を復活させた。また、部費も今までは均等に配分していたが、現在は立教を代表するスポーツに重点配分している。更に、総額15百万円を投じてアメフトや野球の指導者3名を招聘しており、高校のトップレベルで入学してきた生徒を大学でも伸ばしていきたい。
- ◆アスリート選抜で毎年70名が入学するようになり、インカレ優勝、競歩で全日本2位、水泳で全日本2位などの成果が出てきている。注目度の高い野球、サッカー、バスケットは二部のままなので、一部昇格を目指して強化していきたい。
- ◆現在、全学生2万人のうち11%が体育会である。体育会の活動が学生と校友をつなぐ大きな柱である。体育会の活躍により、校友会の皆様方が大きな自信と誇りを持つことができるよう努力して参りたい。

—桑本 淳子 H8法—

朝食勉強会 ウォルト・ディズニー社のビジネスモデルについて

The Business Model of The Walt Disney Company

2012年 3月16日(金) ザ・ペニンシュラ東京「ザ・ギンザボールルーム」



講師:
フィールズ株式会社
代表取締役社長
大屋 高志氏(S63化)

ウォルト・ディズニー社はミッキーマウス等の様々なキャラクターやディズニーランドを展開している企業として有名ですが、大きくは下記の5つの事業から成り立っています。

1つ目は、映画をつくるスタジオエンターテインメント事業です。1923年に兄弟であるロイとウォルトの2人がザ・ディズニーブラザーズスタジオを設立したのが始まりで、最近では2006年にPixar社、さらにMarvel社も買収しました。2つ目は、メディア・ネットワーク事業で、1983年にCATVのディズニーチャンネルを開局したのを皮切りに、ABCテレビ、ESPNの買収などを通じて、地上波テレビ、CATVなど大手テレビ局を持つに至っています。また、CATV事業はディズニー社の収益の過半を生み出す金の卵となっています。3つ目は、ライセンス提供やキャラクターグッズを販売する、コンシューマー・

プロダクツ事業です。4つ目は、インタラクティブ・メディア事業で、家庭用ゲーム機、ソーシャルメディア等を通じ自社の保有するコンテンツをゲーム化して提供しています。5つ目が、世界中でディズニーランドを運営しているパーク・リゾート事業です。

このようにディズニー社は、様々なメディアでビジネスを展開していますが、1つのIP(知的財産)を様々なメディアで展開をするというところに本当の強さがあるのです。それをどのように展開しているのかが、通称「ディズニー・エコ・システム」といいます。オリジナルのキャラクター映画(知的財産)から始まり、テレビ→DVD→出版→ゲーム→グッズ→パーク事業と、彼らの持つ全ての事業で同一のIPが使われることにより、知名度と収益性を同時に高めることにつながっています。近年では企業買収にもアグレッシブに展開し、Pixarスタジオ(トイストーリー、カーズ等を保有)、

Marvel(スパイダーマン、アイアンマン等を保有)を傘下に収めました。これらの企業が持つIPについてもエコ・システムに取り込まれていくものと予想しています。

私たちフィールズも独自のヒーローやキャラクターを育てる仕組みを構築中であり、ディズニーとは異なるアプローチでエコ・システムを作り上げようとしています。ちなみにフィールズは今年で創業24年、年商は1000億円前後で、社員数約1,300名、グループ企業数が23社の中堅企業です。ご存知のようにコンテンツビジネスはディズニーに代表されるように、米国が強みを持っていますが、我々は日の丸を背負って、キャラクター・コンテンツビジネスを世界に向けて発信したいと考えております。是非、立教経済人クラブの皆様には暖かい目で見守っていただければ幸いです。

—井関 由子 H7国比—

コミュニティ福祉学部の 取り組み

コミュニティ福祉学部 学部長 松尾哲矢教授



■コミュニティ福祉学部が 目指すもの

コミュニティ福祉学部は、1998年度1学部1学科(コミュニティ福祉学科)体制でスタートしました。その後、2006年度に福祉学科とコミュニティ政策学科の2学科体制となり、2008年度にスポーツウエルネス学科が開設され、今の3学科体制(2012年5月現在、学部学生1,731名、大学院生75名)となりました。

福祉学科は、福祉、介護、保健医療等の福祉実践の課題、個人の尊厳に基づく自立支援、コミュニティ政策学科は、全ての人が豊かに生きていけるコミュニティのあり方、スポーツウエルネス学科は、運動やスポーツを通して全ての人のウエルネス(総合的健康)の向上を考究する学科です。この3学科によって「いのちの尊厳のために」という学部理念を豊かに構想できる体制が整ったと考えています。

学部教育の特徴としては、4年間を通して「現場」に足場を置いた少人数教育が挙げられます。多くの現場で実地経験を積み、様々なアプローチの方法を獲得するなかで、自らボランティアに参加する学生が多いのも特徴です。

■就職状況及びキャリア支援

2011年度卒業生の就職希望者に対する就職率は96.0%(卒業生全体の就職率73.3%、進学率5.3%)でした。業種別では

サービス業(27.7%)、金融・保険業(15.1%)、製造業(13.5%)、公務員(10.6%)の順であり、サービス業と公務員の割合が全学部の内、最も高くなっています。

学部内にインターンシップ・キャリア支援委員会及び支援室を設置し、学部独自事業(各種イベント、学部イベントカレンダー作成等)の実施、英語教育助教による海外インターンシップ、留学に向けた語学学習支援、就職等に向けた自主学習グループの組織化支援、キャリアサポーターの配置等、学部キャリア支援の充実に取り組んでいます。

また2007年度、コミュニティ福祉学会(2012年7月現在、会員389名)を創設し、卒業教育、卒業生と現役学生との実践研究・交流、キャリア研修の場となっています。

■東日本大震災復興支援 プロジェクト

2011年4月13日、「コミュニティ福祉学部東日本大震災復興支援プロジェクト」を設置し、単なる震災ボランティアではなく学部の専門性を生かした長期支援を行う方針で活動を開始しました。主な活動としては、「復興支援推進室」の開設、「プログラム・コーディネーター」の配置、「学生ボランティア登録制度」(2012年7月20日現在、413名)の創設、学生組織の創設、学生の活動支援、情報発信、被災地での支援活動(陸前高田市、気仙沼市(大島)、石巻市など)等を行っており、今後、少なくとも3～5年間は活動を継続する予定です。

■コミュニティ福祉研究所の 創設と研究拠点化

学部付属の「コミュニティ福祉研究所」を2009年4月に創設、「2010年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」(5年間約1億円)に採択されました。急増しているうつ病者の社会的支援や社会復帰の問題、自殺予防に関するソーシャルモデル研究・開発であり、福祉学、スポーツ科学、政策学等の専門家が協働しながら創造的な研究の展開をみせています。今後、新たな産学官連携研究が期待されます。

■今後の課題

学部運営に関しては2011年度より学部学生へのメール送信システムを構築、学生連絡の効率化を図りました。また2012年4月、iPadを用いたペーパーレス会議システムを教授会に導入し、紙の節減と会議の効率化を実現しました。

これからの学部課題としては国際化推進、大学院改革が挙げられますが、現在、検討ワーキングを設置し、年次的に実施してまいります。

「競争社会」から「共生社会」へ、「成長社会」から「成熟社会」へと移行する時代にあって、全ての人のいのちの尊厳を守り、共に生きる社会を構想する本学部は、これからの時代を創造する役割を持つものと考えています。

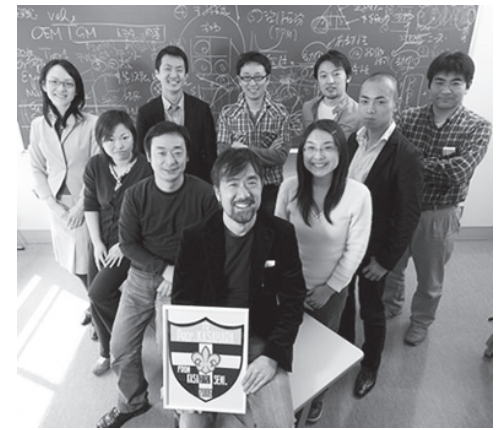
—品川 高穂 H8経—

立教発！新ビジネス

「勉強って、なんて面白いんだろう!!」

これは、私が立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(Rikkyo Business School 以下RBS)に在籍している時に感じた正直な気持ちです。

それまで私は勉強するのがあまり好きでなかったのですが、勉強という行為をネガティブに捉えていましたが、昼は会社で仕事をし、夜は社会人大学院で学ぶという二重生活を送り、教授や沢山の同期達と過ごした経験を通じて、勉強に対する考え方が180度変わっただけでなく、勉強以外にも、様々なものに対する見方や考え方が変わっていくのを実感することができました。今回はこの場をお借りして、私の人生に対して大きな影響を与えて下さった二人の恩師にスポットライトを当て、立教経済人クラブの先輩方に、改めて立教の素晴らしさをお伝えしたいと思います。



今井英之さん
立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科
2010年3月修了

笠原英一先生(マーケティング)

まずは、人生で一番影響を受けたと言っても過言ではない笠原英一先生を紹介させていただきます。

突然ですが、会社の部下から「マーケティングって何ですか?」と聞かれて、皆さんはすぐに答えることができますか?きつとしどろもどろになってしまう方が多いのではないかと思います。

なにを隠そう当時の私はマーケティングの部署に在籍していたにも関わらず、この問いに答えることはできませんでした。そんな私にマーケティングの意義や面白さを叩きこんで下さったのが、ゼミの指導教授だった笠原先生です。

先生は産業財分野における戦略的マーケティングの専門家として、業界の第一線で活躍されているバリバリの経営コンサルタントでありながら、ビジネススクールで教鞭をとり、ゼミを持ちながら自らも毎年学会に論文を発表するという、実務家と理論家二つの顔を併せ持つバランス感覚溢れる先生です。

実務で有効に機能する理論を大切にしながらも、最後は「気合と根性」という男気溢れる先生は、「男気マーケティング」という新たなフレームワークを提唱するフロンティアです。

先生は、大学院に通う私達社会人学生の何倍も働き、そして何倍も学ぶという超人的な精神力と体力を持ち、事ある毎に「3日位は寝なくて大丈夫。仕事も論文も死ぬ気で頑張りなさい!」という恐ろしい(?)お言葉で、サボりがちなゼミ生達にはっぱをかけていました。先生の凄さは仕事や勉強だけにとどまりません。休日は湘南の海に通い、趣味のレベルを遥かに超えたヨットレースを行うスポーツマンという側面も持ちます。そんな笠原先生はゼミ生達のグル

として絶大な尊敬を集める一方、自分達とのあまりのレベルの違いに、宇宙人説まで流れた程です。

紙面では書ききれない程たくさんの伝説を持つ笠原先生ですが、ゼミ生達のモチベーションを引き出す熱意溢れるご指導と、どんなに忙しくても手を差し伸べてくれる優しさを持ち合わせた素晴らしい師匠に出会えたことは、私の人生にとって大変大きなプラスとなりました。

笠原英一先生のHP www.aprim.jp

門川義彦先生(ホスピタリティ)

次に、コミュニケーション能力や人間性などの幅広い面で大変多くの事を学ばせて頂いた門川義彦先生を紹介させていただきます。

門川先生は、恐らく世界でただ一人「笑顔コンサルタント」という肩書を持ち、リテールスタッフや大手企業経営者に笑顔の指導を通じて企業の売上アップを約束するという、伝説の経営コンサルタントです。

「オールポジティブ」、「幸せを分かち合う笑顔の文化」などをスローガンに、RBSにおいてはホスピタリティデザイン、通称「笑顔の楽校」と呼ぶ授業を持っていました。(当時)

ビジネススクール広しといえども、「笑顔」を学べるビジネススクールは世界的にみてもRBSしか見当たりません。

「笑顔はリーダーを目指すビジネススクールの皆さんこそが磨くべき、必要不可欠なコミュニケーションツール」として、ショップの接客テクニックの枠を遥かに超え、過去700社70,000人以上をコンサルティン

グして蓄積された大変貴重なノウハウを、短期間の授業に凝縮して、私達RBSの生徒達に惜しみなく教えて下さいました。

先生はよく「『笑顔を大切に』などと謳う企業経営者に限って、大体仏頂面して写真に写っているのは嘆かわしい」と仰っていました。立教経済人クラブの皆様、HPなどに掲載された自分のお顔は笑顔ですか?もしご自分の写真がどこかに掲載されるような事がありましたら、どうぞお気をつけ下さい。(笑)

門川先生は、私がRBSを卒業してショップをオープンさせた時にも、わざわざショップまで足を運んで下さってオペレーションに関するあらゆるアドバイスを懇切丁寧にして下さいました。

また授業で教えて頂いた事は、家に帰ってすぐに自分の子供に応用してみたのですが、そのお陰で我が子ながらに大変活き活きとした表情豊かな子供に育っております。

どんな時も誰に対しても平等に心を開き、笑顔をもって優しく接するという門川先生の教えは、仕事も家庭も人生を歩んで行く上で本当に素晴らしい教えとなりました。

門川義彦先生のHP www.egao.co.jp



BLOOM & STRIPES

HP www.bloom-and-stripes.com
BLOG www.bloom-and-stripes.sblo.jp
MAIL shop@bloom-and-stripes.com

■自由が丘店
東京都世田谷区奥沢5-14-1
TEL:03-6421-1187 FAX:03-6421-1387
■茅場町支店(法人営業)
東京都中央区新川1-7-2

BLOOM & STRIPES (ブルーム アンド ストライプス)

BLOOM&STRIPESは、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科出身、現在立教経済人クラブ会員の今井英之が2010年3月大学院修了後に起業したフラワーデザインのサービス会社です。

主な事業は、ウェディング装花、ショップディスプレイ、イベント装花、撮影用フラワーデザイン、法人向けフラワーギフト、個人向けフラワーギフトなどで、全てオーダーメイドのフラワーデザインをお客様に提供しております。

「ハッピーなうらぎりを。」をスローガンとして、お

客様から「おっ、そうきたか〜」と言って頂けるような、良い意味での裏切り感を提供させて頂けるよう努めております。

フラワーデザインに求められる目的は、時と場合によって異なります。クライアントと当社デザイナーとの良好なコミュニケーションを通じて、そのクライアントがフラワーデザインに求める真のニーズを的確に捉え、クライアントにグッと刺さるBLOOM&STRIPESらしいユニークなデザインとサービスを提供させて頂きます。

経済学部 – 経済人クラブ 連携強化のための懇親会を開催



平成24年7月12日(木)、昨年に引き続き経済学部の先生方と経済人クラブのメンバーとで産学の連携強化のための懇親会を行いました。経済学部からは池上経済学部長、郭教務部長、須永入学センター長、池田教授、關(せき)准教授の5名の先生方が、経済人クラブからは上小牧産学連携委員長、湯浅総務委員長、安東対外交流委員長、徳澄会報委員長そして私、吉原の5名のメンバーが参加しました。

この日の懇親会では、立教大学の知名度の向上、学生と経済人クラブとの交流、経済学部と経済人クラブの協同といった点を中心に活発な意見交換が行われました。

まず初めに、昨年も話題となりましたが、立教大学の魅力を増し、より優秀な学生を集めるためにどのようなことが考えられるかについて意見交換が行われました。特に、都心での知名度は抜群の本校も、地方に行くところと東京六大学の中でも最も知名度が低くなっているようです。全国区での知名度を獲得するためにどのような方法があるのか、他大学の取り組みを参考に、本校でもどのような取り組みができるかについて話し合

いました。

また、学生達が卒業後、社会で活躍するために経済人クラブとして取り組めることがないかという点も話題となりました。経済人クラブには社会で活躍されている先輩方がたくさんいらっしゃいます。しかし、学生の中にはこういった先輩方が立教大学の卒業生であることを知らないということが意外とあるようです。特別講義などを通じて、立教大学の先輩方が活躍していることを知り、非常に喜ぶ学生が多いとのことでした。

偉大な先輩方や身近なところで活躍している先輩方等、たくさんの卒業生と現役の学生が交流を持つことで、将来の目標や卒業後の進路を明確にすることができるのではないかと先生方からのご提案に、経済人クラブも本校に対するより大きな貢献ができる可能性を感じました。

さらに、先生方や経済人クラブの幅広い人的ネットワークを通じて、スポーツや文化活動等多方面で活躍している方々を招いて講演会を開催する等、協同して活動を行うことも相互の連携のためには有効ではないかというご提案も頂戴いたしました。先生方

も、学生スポーツを通じて意外な人脈をお持ちであることに驚くこともしばしばありました。

このように、2回目の今年は、昨年の懇親会よりもさらに幅広く、経済学部と経済人クラブが協力して立教大学のためにできることについて話し合うことができました。

経済学部の先生方らしく、経済原理を考察しながらのメニュー選びをされたり、アジア情勢を中心とした世界情勢について面白おかしく話していただいたりと、なかなか普段は見ることができない一面を拝見することができました。昨年の懇親会でも同様でしたが、先生方のバイタリティーと人間的な魅力あふれるお話に圧倒されることも度々ありましたが、回を重ねることで、お互いがより身近な存在となり交流を深めることができれば、本校のために、学生達のために連携して活動することができるのではないかと思います。

今後も引き続き懇親を深めていく機会をつくって行きたいと思っておりますので、経済人クラブの皆様も是非ご参加ください。

—吉原 伸隆 H4 営—

連載

この5月まで産学連携委員会を担当しておりました1987年経営卒の藤田です。

今回は「グローバルリーダーの道」と題して、ショートコラムを記します。

知の部分(=恥もしくは痴とも言う)で少しでも貢献できればと思います。

グローバルリーダーへの道 (第1回)

私はこれまで約15年間、ビジネスパーソン能力測定を行ってきました。グローバル基準での能力を構造化したモデルをベースに、テストを通じて数値化しています。

グローバルリーダーにとって、必要不可欠な「異文化適応能力」がボトルネックとなっており、他の評価項目に比べ20点以上(100点満点)も平均値が低いのが現実の日本です。この連載を通じて、グローバルリーダーへの道を一步踏み出すきっかけになればと考えています。

さて、今回は個人的な体験からグローバルリーダーにアプローチします。私は以前、米国ペンシルバニア大学へ学部留学をしていたの

ですが、ラグビー部に所属しておりました。

忘れもしない最初の練習での光景です。ラグビー部員のほとんどがアメリカ人で、日本人、いや、アジア黄色系人種は一人もいませんでした。極めて少数のフレンドリーなアメリカ人以外は声すら掛けてくれず、なんだあの色の違うやつは…という、冷たい視線を感じたものです。

いざ、練習が始まると状況が一変しました。何と私の方が圧倒的に技量が上だったので。高校時代は勉強そっちのけで、ほぼ1年365日、ラグビーに没頭しておりましたので、当時は相応のレベルにいました。練習が始まるや否や、みんなが私のところに寄ってき

て、“やれ俺はマイクだ、やれ俺はトムだ、宜しくな!”という感じでした。

その時、人種を越えて、スキル・技量がフェアに評価されることを学びました。この感覚はグローバルを考える上で重要なメッセージかと思えます。大リーガーのダルビッシュ投手、サッカーの香川選手が海外で称賛されている感覚は非常によくわかります。

グローバルリーダーになるためには、まずは自分の領域で圧倒的な能力と相応の評価が前提条件であることがおわかりになるかと思えます。

ご質問・ご意見・ご感想があれば、fujita@v-change.co.jpまで。

立教経済人クラブ 事務局長挨拶

この度、事務局長に就任致しました、経済学部経営学科昭和61年3月卒、安食(あじき)正秀です。会員の皆さまには、平素より当クラブの運営に関し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、事務局長の任にあたり、会員の皆さまに喜んで戴ける事業を、円滑に実行することは元よりですが、昨今の経済や社会情勢を踏まえて、10年先の当クラブのあり

方を考えて参りたいと考えております。そのひとつとして、新入会員の方々が気軽に交流ができる事業を、各運営委員の方々と企画して参りたいと考えております。

最後になりますが、会員皆さまのご健康を祈念致しております。至らぬ若輩者ですので、今後も、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

—安食 正秀 S61営—

総務委員会

立教大学の毎年の卒業生がここ十年あまりで倍増している現状を鑑みますと、今後、当クラブの会員も若い世代の割合が次第に増えて行くと考えられます。

定期総会と新春名刺交換会は、当クラブの毎年恒例となっている大きなイベントで、会員同士や立教学院関係の皆さまが交流・親睦する場として大きな役割を担っていますが、

当委員会ではこれらにおいて、既存の会員の方々にだけでなく新し

い会員のみなさまにも、より魅力あるものと映るよう取り組んでまいりたいと考えております。

世代を超えて様々な会員がつながることで、生まれる大きな力——

立教の交流力を高めるためにも。

—湯浅 修 S59産—

産学連携委員会

はじめまして、産学連携委員長の上小牧です。立教経済人クラブに入会したのは3年前、この会を通じて色々な人と出会い、勉強になりました。大きな出来事で産学連携というものに縁を感じることもあり、今回事務局長に就任された安食様と2度目にお会いした時に、10年ほど音信が途絶えてた方と偶然にも私は仕事でつながりがあり、その場で連絡をし、その日の夜に二人は再会したこ

と。この会に入会をしていなければ、二人の再会は遠い先になっていたかも。産学階(経済人クラブ)と学業界(大学に関わる人たち)とを結び、今回のような、劇的な出合いが少しでも創出出来ればと思ひ、産学連携委員長に就任しました。不慣れでご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、会員の皆様、宜しくお願いします。

—上小牧 正章 H17院ビ—

活性化委員会

明るく・楽しく・前向き(ATM)の精神で活性化を進めます。

- ・活性化委員会として本来の意味での「クラブの活性化」につながる新たな活動を考えてゆきます。
- ・会員の維持増強に協力してゆきます。

- ・クリスマス会を通して会の活性化を目指します。
- ・タウンクラブの運営に協力してゆきます。

—山田 晴久 S56法—

スポーツ委員会

スポーツ委員長の長倉です。

去る7月16日、経済人クラブゴルフ会が開催されました。毎年、7月と11月の土日というのが通例でしたが、今年は11月の会を変更してみようと思っております。というのも11月の会は参加される方がいつも15名に満たないからで、理由をあげますと

- 1、コンペシーズンの為、忙しい。

- 2、トップシーズンの為、料金が低い。

という事ではないかと思ひます。

そこでゴルフ場の料金が切り替わる12月に、平日も含め計画してみようと思ひます。

よろしくお願ひします。

—長倉 一裕 S59法—

対外交流委員会

対外交流委員会では経済人クラブ以外の他団体との交流を新たに図り、経済人クラブメンバーの異業種交流、ネットワーク・人脈の拡大のきっかけになる活動を行っております。(1)「職域立教会や立教レディースクラブなどの校友会団体、立教関連団体との親睦を深める」親睦を通じて立教経済人クラブの活動を、より多くの方々に理解して頂き、結果として新たな会員が経済人クラブに入会して頂く機会に繋がればと思ひます。また当委員会のユニークな面は、

立教大学OB/OGの会でありながら、「他大学の経済人との交流を行っている」所にあります。2011年9月に開催された「2011経済人交流ゴルフ」では、東大/京大をはじめとした、(2)「他大学の経済人/エグゼクティブ/プロフェッショナルの方々と交流」を図りました。本年も「2012経済人交流ゴルフ」をよみうりゴルフ倶楽部にて計画しており、交流と親睦を図る機会としたいと思ひます。

—安東 隆司 H1社—

タウンクラブ

平成24年3月21日、立教経済人クラブ グルメ会が開催されました。今回は赤坂にある、トゥーランドット 臥龍居 です。料理番組でもお馴染みの、中華料理の巨匠、脇屋 友詞氏の一番新しい一軒家のお店です。

オードブル盛り合わせから始まりスープ、メイン的な料理へと続きメの麻婆ご飯(けっこう辛いけれどスゴク美味しい!)、デザートまでまるでフランス料理のコースを頂くようでした。季節を感じさせるものあり、しみじみと美味しいものあり、インパクトありと口に楽しくて、美味しいコースでした。

当日は中国料理の新橋亭の呉東富先輩も参加され、料理業界のお話もして頂き、大変楽しいグルメ会でした。

次回もお楽しみに

—長倉 一裕 S59法—



新しく会員に なられた方々

(敬称略)

金久保 篤司

昭和50(1975)営

大和小田急建設(株)

代表取締役社長

160-8377 新宿区西新宿4-32-22

TEL:03-3376-3110

FAX:03-3376-3100

E-Mail:kanakubo-a@daiwaodakyu.co.jp

URL:http://www.daiwaodakyu.co.jp

業種:総合建設業(建設、土木、不動産開発)

菅田 博文

昭和54(1979)経

テラル(株)

代表取締役社長

112-0004 文京区後楽2-3-27 テラル後楽ビル

TEL:03-3818-7700

FAX:03-3818-6790

E-Mail:sugata01@teral.co.jp

URL:http://www.teral.net

業種:ポンプ送風機、環境装置製造販売

杉田 泰之

昭和41(1966)産

アルファオートリース(株)

顧問

103-0012 中央区日本橋堀留町2-8-4

日本橋コアビル6F

TEL:03-5652-3621

FAX:03-5652-3620

URL:http://www.alfa-al.com/

業種:自動車のリース・整備・修理・新車、

中古車の販売、車両管理

出口 和男

昭和46(1971)経

日本カーリット(株)

代表取締役社長

101-0024 千代田区神田和泉町1

TEL:03-5821-2020

FAX:03-5821-2050

E-Mail:k.deguchi@carlit.co.jp

URL:http://www.carlit.co.jp

業種:化学品製造業

鈴木 一広

昭和59(1984)経

新生紙パルプ商事(株)

経営企画部長兼新事業開発部長

101-8451 千代田区神田錦町1-8

TEL:03-3259-5083

FAX:03-3291-7050

E-Mail:k-suzuki@sppcl.co.jp

URL:http://www.sppcl.co.jp

業種:紙、フィルム専門商社

中島 幸彦

昭和42(1967)営

(株)虎ノ門アセットマネジメント

代表取締役社長

105-0001 港区虎ノ門1-11-4 馬嶋ビル2F

TEL:03-6268-8251

FAX:03-6268-8253

E-Mail:y_nakajima@toranomom.co.jp

URL:http://toranomom-am.co.jp

業種:第二種金融商品取引業、宅地建物取引業

富津田 達也

昭和60(1985)営

富津田社会保険労務士事務所

所長

114-0024 北区西ヶ原4-38-3-301

TEL:03-5980-2422

FAX:03-5980-2423

E-Mail:t_futsuda@ybb.ne.jp

URL:http://www.koyano-cpa.gr.jp

業種:社会保険労務士

長谷川 徳男

平成5(1993)営

小谷野公認会計士事務所

副所長

151-0053 渋谷区代々木1-22-1 14F

TEL:03-5350-7440

FAX:03-5350-7436

E-Mail:hasegawa@koyano-cpa.jp

業種:会計、税務に基づく、中小企業の経営支援、

資産家の資産管理

三ツ村 太一郎

平成13(2001)産

(株)ミツムラ

取締役

110-0051 台東区東上野2-13-12

TEL:03-3832-6186

FAX:03-3832-6189

E-Mail:taichiro@mitsumura-corp.co.jp

業種:宝飾、貴金属卸売業

宮下 治也

昭和50(1975)法

東燃ゼネラル石油(株)

専務取締役

108-8005 港区港南1-8-15 Wビル

TEL:03-5495-2702

FAX:03-5495-6288

E-Mail:harunari.miyashita@tonengeneral.co.jp

URL:http://www.tonengeneral.co.jp/

業種:石油精製、販売

宮垣 秀司

昭和60(1985)営

(株)ウルトラモダンイクウィップメント

取締役副社長

151-0064 渋谷区上原3-7-22

TEL:03-5452-1799

URL:http://www.ultra-modern.co.jp

業種:雑貨企画、業態企画

山崎 常城

平成10(1998)営

Nicolaas & Paul Planning

代表取締役

103-0023 中央区日本橋本町2-3-16-803

TEL:03-3272-4999

FAX:03-3272-5030

E-Mail:paul@npplan.jp

URL:http://npplan.jp

業種:語学研修事業及び s p . クリエイティブ事業

山本 紫

昭和63(1988)法

モルガン・スタンレーMUF G証券(株)

法務コンプライアンス本部エグゼクティブ ディレクター

150-6008 渋谷区恵比寿4-20-3

TEL:03-5424-6374

:

E-Mail:Yukari.Ogi@morganstanleymufg.com

URL:http://www.morganstanleymufg.com/

業種:金融商品取引業

2012年度 事業計画書

| 月日 | 事業 | 会場 | 参加募集 |
|---------|----------------|----------|-------|
| 8月 | 経済学部インターンシップ支援 | 未定 | |
| 9月 17日 | 他団体交流ゴルフ | 東京ゴルフ倶楽部 | 募集します |
| 19日 | グルメ会 | 未定 | 募集します |
| 10月 18日 | 理事会 | 新橋亭 | |
| 25日 | 朝食勉強会 | 未定 | 募集します |
| 11月 21日 | タウンクラブ | パー・オーキッド | 募集します |
| 未定 | 第62回ゴルフ会 | 未定 | 募集します |
| 12月 11日 | クリスマスパーティー | 未定 | 募集します |
| 1月 30日 | 新春名刺交換会 | 日比谷松本楼 | 募集します |
| 3月 未定 | 朝食勉強会 | 未定 | 募集します |
| 21日 | グルメ会 | 未定 | 募集します |

編集後記

今年の10月6日(土)に、平成4年卒業生『大学卒業20周年の集い』が校友会主催で開催されます。例年は200名前後の参加者ですが、今年はフェイスブック等のツールを最大限利用して倍の400名を集めようと、応援団の安藤君が幹事長となり動き出しています。まずは、各体育会等から1名幹事を選び同期へ伝達作業をしております。校友会事務局からは、1100名強の転居先不明者のリストを渡され、1名でも多く通知できる様、協力を求められています。しかし、今の様な時代だとフェイスブック等のソーシャルネットワークの普及で不明者の発見もそう難しくないのかもしれませんが。

同じ苦楽を共にし・同じ目的に向かって努力していた仲間同士だと、何年経とうとその頃にタイムスリップできる、そんな最高の瞬間を求めて多くの同級生が集まってくれることを幹事の一人として願っています。

—神津 港人 H4営—